

熊野古道馬越峠を歩くみち

起点 海山町上里 (JR船津駅)
 終点 尾鷲市 (JR尾鷲駅)
 延長 10.3km
 利用タイプ B



沿線の風景

JR船津駅から海山町の町中を通り、国道42号沿いからの山道に入ると、そこはその昔人々が往来した熊野古道の馬越峠である。馬越峠では入口から2km弱の坂道に、ほぼ完全に往時の美しい石畳が残されている。整然と植林された林を眺めながら、苔むした石畳の道を上って行くと、幹線沿いに一里塚や茶屋跡、桜地蔵、江戸末期の俳人桃乙の句碑など数々の遺産にめぐり合える。そのほか、地元の人が命名したカッパ岩と呼ばれる巨岩が、ユーモラスな姿で人々の目を和ませてくれる。途中、幹線からそれて馬越峠の東にそびえる天狗倉山への頂上へ登れば、尾鷲湾と尾鷲市街が一望のもとに見渡すことができる。峠を歩き終えると馬越公園にたどり着き、そこでも尾鷲市街を望むことができる。

主な見どころ

海山町郷土資料館、石畳の古道、夜泣き地蔵、一里塚、桃乙の句碑など



凡	例
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◊展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場

〔利用タイプ〕

Aタイプ 山地等でやや体力を要するコース
 Bタイプ 山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース
 Cタイプ 全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース

